

[横浜市岩間市民プラザ]

令和5年度業務計画

[吉野町・岩間アート&メディアパートナーズ]

※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市岩間市民プラザ
所在地	横浜市保土ヶ谷区岩間町 1-7-15
構造・規模	鉄筋コンクリート造地下1階地上5階建て
敷地・延床面積	建築面積 1,314.73 m ² 、延床面積 5,213.74 m ² (岩間市民プラザ占有面積 2,120.93m ²)
開館日	平成3年7月27日

2 指定管理者

団体名	吉野町・岩間アート&メディアパートナーズ
所在地	横浜市西区西平沼町6-1
代表者	代表取締役社長 熊谷 典和
代表事業者設立年月日	昭和49年9月10日
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	平成28年4月1日

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

【基本理念】

人をつなぎコミュニティを活性化するすべての市民にとっての広場となる

【業取実施にあたっての基本的な方針】

これまでの指定管理期間で取り組んできた共同事業体の構成企業の強みを活かした事業展開や強化ポイント、地域と育んできた関係性は堅持しつつ、さらに広げていくことを目指します。そ

のため、新たに下記の6項目を運営における基本的な方針とします。

1. 全ての市民の「広場」

文化芸術とは市民生活の中、暮らしと共に存在するものです。市民プラザはその市民を受け入れる新たな広場となり、市民と協働しながら文化芸術を振興し期待される社会の形成に取り組みます。

2. 市民と協働し、伴走する

市民プラザの活動の主体は市民であり、地域文化を育てるのは市民自体です。市民の要望(意欲、意思)を大切にします。つまり私たちの役割は専門的な知見を背景に、市民の活動を支援し伴走することです。

3. 多層のネットワークをコミュニティに創る

市民プラザが総合的文化芸術推進の視点に立ち、市民、NPO等団体、企業、教育機関、福祉機関、行政と関係を結び、相互に連携協力し、継続的な関係性を維持し、文化的コモンズの核となるよう努めます。

4. 包摂型文化芸術振興

市民プラザの施設内外を問わず、事業、運営、管理すべてにおいて、誰もが参画できる、排除される人がいない取組みを進め、全ての人を対象とした、社会包摂を前提とした活動を推進します。

5. コミュニティを活性化していく人材の育成

人材育成は地域の活性化にとって重要であり、子どもの次世代育成や創造的活動だけではなく、文化芸術の力を活かし社会的課題解決につなげるコーディネーターや、サポート人材の育成も促進します。

6. 市民プラザ2館の連携、かつ3館連携、さらにその先のネットワーク化

市民プラザは南区と保土ヶ谷区に位置しており、3館連携の関内ホールは中区で近隣区であり、これまで通り連携を続けていきます。さらに他地域施設や団体などとの連携も進めていきます。

(2) 令和5年度の業務の方針

ア 全体について

第二期指定管理提案書に掲げた基本方針や諸業務の達成に向け、新たな取り組みへ着手するとともに継続業務を確実に遂行します。新型コロナウイルスの影響が今後も継続するであろうことを踏まえ、利用者に安全と安心を提供する施設運営に努めます。

イ 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

利用者の気持ちにそった施設運営を行います。初めての利用者がスムーズに施設を利用できるよう、申込方法等を丁寧に説明するとともに、施設を試用する機会を設けます。また来館者・利用者のニーズの把握に努め、日々の業務にフィードバックします。ホスピタリティ向上につながるさまざまな取り組みによって、利用率増や総来場者数増を目指します。

また、ターゲットにあわせた広報手段で施設の情報を発信するとともに、施設の説明会や、既存の利用者と新規利用が見込まれるお客様をマッチングする取り組みなどを行い、施設の周知促進と利用者層

の拡大を図ります。

ウ 使命2 文化芸術活動への参加の機会を提供する

楽器、朗読、作品鑑賞など様々な講座を開催し、身近な場において文化芸術を体験できる機会をつくります。講座・体験・参加など多様な糸口をもつ、文化芸術と身近に出会える機会を提供します。文化芸術を切り口としながら地域資産を顕在化させる市民のさまざまな取り組みとも連携し、施設の外にも文化芸術と身近に出会える場をつくります。市の中心部と郊外部の結節点に位置する市民プラザならではの取り組みで、市民と文化芸術を結びます。

エ 使命3 次世代を担う人材を育む

子どもにとって初めて鑑賞する文化芸術や、初めて発表するステージ体験などの機会を提供し、子どもの心に文化芸術の芽を育てます。次代を担う子どもたちが文化芸術と出会い、自ら創作する喜びや、表現する楽しさを体験し豊かな創造性や感受性を育むための事業を実施します。若い世代が市民プラザを利用しやすくなる仕組みを作ります。アンケートやインタビューをとおしたニーズの調査を行います。初めて文化芸術に触れる方でも親しみやすくわかりやすい事業を実施します。市民とともに事業を企画、実施し、その活動をサポートします。文化団体や電化活動をする人の活動に協力し、文化芸術の担い手や活動を支える層を厚くします。

オ 使命4 文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける

文化芸術の力で人と街と施設を繋げる取り組みを実施します。地域団体への協力を通じて、市民と施設の良い関係を築き、地域コミュニティの中核として認識される運営を行います。近隣文化施設や各種文化団体、商店街、自治会等とのネットワーク構築に努め、個別に館スタッフが訪問して関係性を構築し、継続した情報交換や共同事業、連携事業を実施します。さらにはコミュニティ活性化に寄与するための施設の将来のあり方検討を進めます。地域のさまざまな取り組みをつなぐ役割を担い、市民活動が相乗効果を発揮できるよう支援します。共同事業体の強みを活かした広報活動により、地域の活性化に貢献します。市民の多様性に配慮しながら、幅広く人と人をつなぐ施設運営を行います。施設活用のさまざまな可能性を発信し、より幅広く人が集まり、つながるような取り組みを行います。地域市民とともに施設の未来のあり方を考えるプロジェクトを立ち上げます。

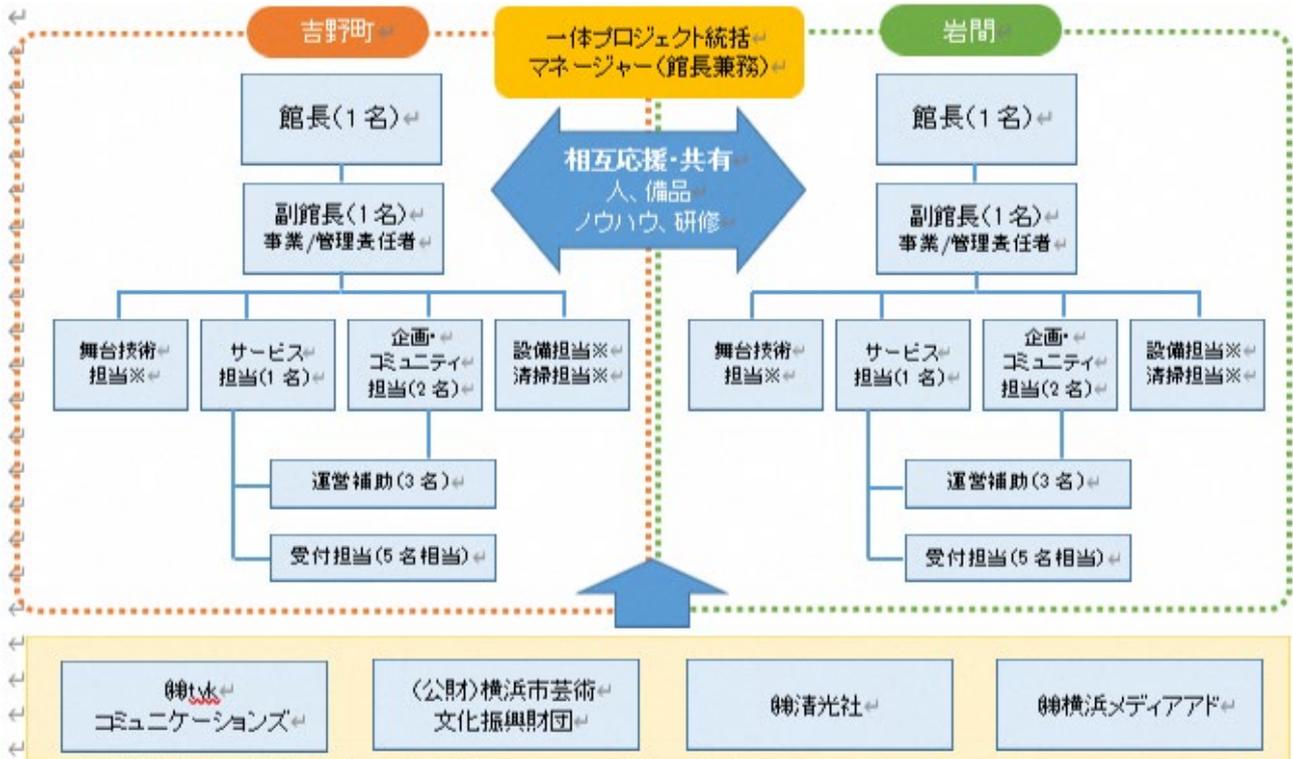
カ 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設を維持します。館内他団体と連携しながら万一を想定したリスクマネジメントを行います。効率的な経費の執行や収入増の取り組み等により、安定的な施設運営を行います。

キ 使命6 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し施設運営を継続する

感染状況に応じたリスク管理に基づく自主事業運営を行い市民の期待に応えます。ガイドラインの遵守や利用人数の管理、消毒等の実施により利用者により安心安全な環境を提供します。感染症の影響が大きい時期は大幅な収入減は避けられません。徹底した経費節減と助成金等の外部資金導入に努めます。

4 運営組織の構造、人員配置



※ 舞台技術担当、清掃担当はそれぞれのシフトで勤務します
 ※ 設備担当は、岩間はシフト勤務、吉野町はシフト外で勤務します

共同事業体各社から文化施設での実務経験のある職員を配置します。統括責任者である館長、実務チーフである副館長には、文化芸術のみならず管理・運営（貸館等）・事業全般に精通し地域や関係機関と密接な関係を築ける、経験豊富な職員を配置します。

コミュニティ促進及び市民プラザの地域コミュニティ拠点施設化という今期の重要な課題に対しては、2館で一体的な取組みを行うプロジェクトを組織的に立ち上げます。

職員全員が、お客様対応、受付業務、貸館業務等に習熟し、安定した運営を実現できる組織体制とします。

舞台技術、設備、清掃各担当には、専門的な知識と経験を有する職員を配置します。

自主事業や突発的な施設不具合などの際は、両プラザ相互の人的応援に加え、共同事業体各社がバックアップします。

5 令和5年度の業務の取組

(1) 文化事業

第二期指定管理期間の2年目は、参加者が定着し地域から期待されている既存事業をさらに精査しながら継続しつつ、使命達成のための新たな取り組みとなる事業の手法検討と一部事業の試行を行います。事業収支については、年間の事業収入と事業費支出のバランス維持を基本姿勢としつつ、感染症が拡大傾向にある時期においても、比較的収支バランスを取りやすい事業を優先的に実施しながら、施設の事業継続に努め、市民の期待に応えます。

ウェブを活用した事業にも積極的に取り組みますが、当該事業についても採算性については例外とせ

ず、ウェブによる事業の収益化についても模索します。

感染症収束期には、前年度まで実施困難であった地域との交流事業の再開にむけ、地域の各団体と協議を行います。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(2) 施設運営

利用料金収入は施設の収支安定の柱です。感染症ガイドラインを周知徹底し、利用者に理解と対応を求めるとともに、施設側も各施設や備品の消毒作業や換気を徹底し、利用率の維持向上をはかります。さらに新たな利用者獲得のため提案書に記載した「ウェルカムプラザ」や「来てみてプラザ」などの取り組みについては、利用者のニーズ調査や具体的な実施方法の検討を行い可能なものから着手します。若年層を取り込むギャラリー事業「U25 プラン」については広報強化を行います。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(3) 施設管理

開館年数相応の施設劣化に対応するため、不具合箇所のリストアップを行ったうえで優先順位付を行い、指定管理者対応案件の実施と、設置者対応案件は対応の提案を行います。特に安全管理に関わる事案は最優先事項と位置付けて短期間で修繕が完了するよう努めます。

感染症対策はもとより、火災、地震、水害、風水害等に対するリスクマネジメントについては、偕恵いわまワークス、ほどがや国際交流ラウンジ、保土ヶ谷区地域子育て支援拠点サテライトと日常的に緊密な連携をとりつつ、万一の際の対応方法の確認や訓練の実施に取り組みます。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(4) 収支

共同事業体それぞれの専門性を活かし、広報活動による事業収支の安定化や、管理運営経費の効率化により、安定した収支を実現します。新規利用者増、マスメディアやSNSを活用した情報発信、外部資金の獲得など、収入増のためのさまざまな取り組みを行います。水道光熱水費をはじめとする管理運営経費の削減に努めます。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(5) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

横浜市市民プラザ指定管理者業務の基準に定めのある計画書・報告書等の各種書類については、横浜市所管課の要請も踏まえつつ適時適切に作成します。業務評価にあたっては、完了確認表や自己評価表を作成するとともに、行政評価ならびに選定評価委員の評価を真摯に受け止め、必要な項目は改善するなどPDCAサイクルをまわし業務の品質向上に繋がります。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(6) その他

第二期指定管理期間より、岩間・吉野町両市民プラザの一体的な取り組みの強化がスタートしました。両館共通の使命達成に向けて一体プロジェクト統括マネージャーの元、新たな取り組みに着

手します。関内ホールを含めた3館連携事業についても協議を重ね、実施します。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

6 使命の指標の達成状況と重点的取組事項

(1) 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R4実績	R5達成指標	R5実績	R6実績	R7実績	R8達成指標	R8実績	
1	貸館利用率	ホール	—	93%	—	—	—	95%	—
		ギャラリー	—	54%	—	—	—	57%	—
		リハーサル室	—	74%	—	—	—	75%	—
		レクチャールーム	—	60%	—	—	—	64%	—
		スタジオ	—	81%	—	—	—	84%	—
2	総来場者数	—	58,000人	—	—	—	60,000人	—	
3★	利用者アンケート回収率	—	60%	—	—	—	60%	—	
4★	利用者インタビュー	—	20件	—	—	—	20件	—	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者の状況についての現状把握	R4実績	—
		R5達成指標	利用者アンケートによる現状把握
		R5実績	—
		R6実績	—
		R7実績	—
		R8達成指標	利用者インタビューによる改善効果の検証
		R8実績	—
2★	利用者施設をつなぐ「ピアノプラン」、利用者同士をつなぐ	R4実績	—
		R5達成指標	普段施設を利用されていない方が来館利用するきっかけとなる。
		R5実績	—
		R6実績	—
		R7実績	—
		R8達成指標	文化芸術活動に参加したい人を、募集する団体につなぐ。
		R8実績	—

	「来て見て市民プラザ（仮称・新規）を実施する		
3 ★	利用者の年代や居住エリアを分析し、ターゲットに合わせた広報手段で発信する	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	来館者アンケートを実施、分析して広報手段について再確認・見直しを行う。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	これまでの来館者の年代・エリア推移を精査し、結果を検証する。
		R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

「ピアノプラン」や「U25プラン」などについて、利用者のニーズ調査や実施方法の再検討を行い、より効果的な企画立案、広報を行います。「来てみてプラザ」を試行します。

(2) 使命2 文化芸術活動への参加の機会を提供する

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	体験型事業の事業数および実施回数	—	3事業 25回	—	—	—	5事業 30回	—
2	アウトリーチ事業の実施回数 芸能ホール	—	7回	—	—	—	10回	—
3	来場者（参加者）満足度	—	4.5 (5段階)	—	—	—	4.5 (5段階)	—
4 ★	講座・体験・参加を取り入れた鑑賞型事業	—	5事業 15回	—	—	—	5事業 15回	—
5 ★	横浜トリエンナーレ、横浜音祭り、Dance Dance Dance @YOKOHAMA 参加事業の開催	—	1回	—	—	—	1回	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	参加者の定性分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	事業の参加者アンケートを分析し、次の企画に分析結果を生かす。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業の参加者アンケートをこれまでと比較し、達成度の推移を見る。
		R 8 実績	—
2 ★	文化芸術活動に役立つ講座の開催	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	来館者のニーズを把握し、今後の企画に生かす。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	過去の参加者のデータをもとに、講座開催の成果の検証を行う。
		R 8 実績	—
3 ★	アウトリーチ事業を地域のアーティストや利用団体と協働で開催	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	地域のアーティストや団体と協働し、普段施設に来館されない方々に、芸術文化に触れていただく機会を提供する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	あらたに施設を利用し始めたアーティストや団体と、新しいイベントを開催する。
		R 8 実績	—
4 ★	オンラインイベントの開催	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	施設主催の講座に参加する受講者が、オンラインで成果を発表できる機会を作る。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	5年間の成果の精査を行う。
		R 8 実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組む事項

体験機会の少ない楽器・または逆になじみのある楽器の講座、一人でもグループでも楽しめる話芸の講座などの体験講座を行い、利用者の文化芸術活動をはじめのきっかけづくりに努めます。また、地域のアーティスト・団体との関係を深めることに努めます。

(3) 使命3 次世代を担う人材を育む

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	子どもや親子連れをターゲットとした事業数	—	5 事業	—	—	—	8 事業	—
2 ★	学校や保育園と連携した事業	—	3 事業	—	—	—	3 事業	—
3 ★	市民とともに企画・実施する事業	—	3 事業	—	—	—	3 事業	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
		R 4 実績	R 5 達成指標
1	近隣の文化団体の状況把握	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	アートネットワーク会議を開催し、状況を把握する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アートネットワーク会議から生まれた活動を支援する。
		R 8 実績	—
2	子どもたちや学校の定性分析 (インタビュー調査)	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	インタビュー調査の結果を、事業や運営に3件反映する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	インタビュー調査の結果を、事業や運営に5件反映する。
		R 8 実績	—
3 ★	若い世代の文化芸術活動を応援する事業の実施	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	「U25 プラン」「ジュニア割引」「ウェルカムジュニア」等を実施し、若い世代の利用を応援する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—

		R 8 達成指標	近隣・地元の保育園・幼稚園・小中大学校と連携し、より積極的に活動を応援する。
		R 8 実績	—
4 ★	文化団体や文化活動をする人の活動に協力	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	地域の文化団体が活動する際、広報などの協力をする。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	地域の文化活動団体等との協働し、事業を開催する。
		R 8 実績	—

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組む事項

近隣保育園の協力を得、子どもたちの作品展示を行ったり、地域で活動している団体の協力を得て、子どもたちを招いて紙芝居会を開催したりするなど、文化芸術体験を通して、子どもたちと地域の皆さんの交流の機会を作ります。

(4) 使命4 文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	地域の施設・団体と連携して実施した事業数	—	4 事業	—	—	—	6 事業	—
2	社会的包摂の実現を目指す事業数	—	3 事業	—	—	—	4 事業	—
3 ★	連携する団体数	—	6 団体	—	—	—	8 団体	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	連携したことによる地域の定性分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	連携する地域行事の参加者を把握する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	連携する地域行事の発展・拡大を目指す。
		R 8 実績	—
2	社会的包摂の実現	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	ヒアリングにより参加者の意識を調査・分析し、次の事業へ反映さ

	を目指す 事業への 参加者へ のヒアリ ング・分 析		せる。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	ヒアリング結果を反映した事業の参加者に、変化を問うヒアリングを実施する。
3 ★	施設内外 で地域情 報の収集 と提供、 WEB に動 画掲載	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	地域で活動する団体とのつながりを通じて情報を収集し、ホームページ等で紹介する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	地域で活動する団体とのつながりを通じて情報を収集し、ホームページ等で紹介する。
		R 8 実績	—
4 ★	未来開発 プロジェ クトの実 施	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	地域の人材との連携を深める。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	施設と地域の人材によるあらたなプロジェクト・チームを立ち上げる。
		R 8 実績	—
5 ★	こどもと 一緒に参 加しやす い工夫 (おむつ 替え、授 乳の場所 を提供)	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	安心して授乳できるスペースを工夫する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	来館者に聞き取りを行い、ご意見・要望などを収集する。物理的にも実行できる点は、反映し改善する。
		R 8 実績	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

未来開発プロジェクトの結実の準備として、地域の魅力の発掘、地域の人材との出会いなどにつながる事業の実施、及び地域の団体との協働に取り組みます。

(5) 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	—	0件	—	—	—	0件	—
2	法定点検等の実施	—	100%	—	—	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	—	90%	—	—	—	90%	—
4 ★	職員及び共同事業体構成員自らが実施する小破修繕	—	5件	—	—	—	5件	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	利用者アンケートや事業参加者アンケートに、施設の使いやすさや快適さの設問を設け、意見を収集する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	利用者アンケートや事業参加者アンケートに、施設の使いやすさや快適さの設問を設け、意見を収集する
		R 8 実績	—
2	管理運営費推移の要因分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	省エネカルテを作成、分析し、光熱水費節減に役立てる。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	省エネカルテを作成、分析し、光熱水費節減に役立てる。
		R 8 実績	—
3 ★	施設設備は長く使うことを前提に負荷の少ない運用	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	職員による日常的な機材などの状況確認をし、小さい不具合等の早期発見を心がける。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	職員による日常的な機材などの状況確認をし、小さい不具合等の早期発見を心がける。

		R 8 実績	—
4 ★	事業別収 支計画の 立案、結 果の分析 を次回に 活用	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	月次収支の精査、事業単位での収支精査。分析の結果は次回に活用する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	5年間の成果の精査
		R 8 実績	—

ウ 使命5を達成するために重点的に取組む事項

機材取扱い研修を通じて、職員が利用者に使い方を案内するとともに、日常的に備品の状態を確認でき、異常を速やかに認識して対応できる体制づくりに努めます。

また、ギャラリー・ホールについて、予約システムの予約期間を過ぎた空き時間帯を活用しての利用料収入増加、他の室場については空き状況を分析して、利用率増加のために役立てます。

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表

評価項目		令和5年度計画			
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標		
1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる(使命1)	1 利用者の気持ちにそった施設運営	使いやすい施設貸し出し	■横浜市市民利用施設予約システムのご案内や施設見学に対応する	継続実施	
		来館者・利用者のニーズの把握に努め、ホスピタリティ向上等につなげる	■リハーサル割引期間拡大や若年層のギャラリー利用についてニーズを整理し、利用促進案をたてる	実施	
			■利用者アンケートを実施して、意見を収集・分析し、優先順位をつけて対応して業務改善につなげる	実施	
		■ウェルカム・プラザ実施にむけ、優先団体選定の制度設計とショーケースを行う	実施		
	2 施設の周知と利用団体の紹介	□施設紹介動画の作成・公開	実施		
		□施設見学会「ホールたんけんツアー」	1回		
		□来て見て市民プラザ(オープンデー)	1回		
		□ホールのグランドピアノを弾いてみませんか	12回		
2 文化芸術活動への参加の機会を提供する(使命2)	1 多様な糸口をもったあいの事業の開催	音楽講座	□二胡講座	1講座/6回 8名	
		美術講座	要請に応じて協力 □横浜出前美術館ワークショップ	1回	
		演劇・芸能講座	□岩間落語塾	2講座/各0 6名	
		文化芸術活動に役立つ講座	□着付教室	1講座/24回 10名	
		映像講座	□映像制作講座	1講座 10名	
			□映像等を発表できる「市民プラザチャンネル」を開設	1回 10名	
	2 アウトリーチ事業の実施	市民のモノづくり体験を通じて、製作者同士や来場者との交流を生むイベント	□アートマーケット □モノづくり体験コーナー	1回 参加15組	
		オンラインでのイベント開催	□プラザ発・お届けイベント	1回 参加8組	
			文化団体や文化活動をする人を支援する	□音楽の贈り物@ほどがや	2回 参加200名
			保土ヶ谷・横浜の魅力を発見する	□歴史と文化の街めぐり	1回 20名
				□ほどがや歴史町歩き(ヘリテージ)コンサート	1回 100名
		□東海道ほどがや宿☆魅力発見！シリーズ	1回 100名		
	横浜芸術アクション事業「横浜トリエンナーレ」への参加・協力	要請に応じて協力 □マチノトリエンナーレ	1回		
	3 文化芸術の体験事業の実施	クラシック音楽を軸にしたコンサート	□午前の音楽会	6回 平均150名	
		ポピュラー音楽公演	□レクチャーコンサート	1回 90名	
民族音楽公演		□シルクロードの旋律を奏でる	2回 平均150名		
朗読公演		□朗読と音の調べ	1回 125名		
映像公演		□サイレントシネマ&活弁ワールド	1回 150名		

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表

評価項目		令和5年度計画		
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	
3 次世代を担う人材を育む (使命3)	1 子どもや親子が文化芸術体験の芽を育めるような事業の開催	近隣保育園との連携	□子ども絵画展	1回
		「ほどがや えかたり〜べ」との協働	□紙芝居会	1回
		夏休み講座)小学生対象	□子どものための日舞ワークショップ	1回
	2 子どもたちの芸術活動の機会の創出	アーティストとともに学校に出向く	要請に応じて実施 □横浜市芸術文化教育プラットフォーム 「学校プログラム」	5校
		「NPO法人横浜こどものひろば」との連携	□ゼロ歳からの中高生のための地域劇場	2回 平均150名
		子どもも参加できるイベントを開催	□来て見て市民プラザ(オープンデー)(再掲) □音楽の贈り物@保土ヶ谷(再掲) □ホールのグランドピアノを弾いてみませんか(再掲)	(再掲)
		3歳から入場可能なコンサート	□午前の音楽会(再掲)	(再掲)
	3 若い世代の文化芸術活動を応援	ニーズ調査と取り組み実施	■公演チケットの中高生ジュニア割引	1回
			■ウェルカムジュニア 「練習系施設のお試し体験」 「お仕事体験」	実施
			■近隣大学、小中高校との連携 舞台に立つ機会の提供、地域活動	ニーズ調査 試行
			■ギャラリーU25プランを制度設計し、市に申請する	実施
	4 新たな文化芸術への触発・経験の機会を提供	初めての方に親しみやすくわかりやすい、鑑賞事業の実施	□午前の音楽会(再掲) □シルクロードの旋律を奏でる(再掲) □サイレントシネマ&活弁ワールド(再掲) □朗読と音の調べ(再掲) □レクチャーコンサート(再掲)	(再掲)

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表

5	市民の力を引き出すための、市民とともに企画した事業の実施	利用団体の活動支援、団体同士の交流	<input type="checkbox"/> 岩間 ROCK SPACE	1回 参加8組	
		落語塾OBの活動の場を提供、他の講座との交流	<input type="checkbox"/> 岩間寄席	2回 280名	
		映画愛好者団体、岩間シネクラブの交流	<input type="checkbox"/> 岩間シネクラブ(上映会)	4回 平均125名	
			<input type="checkbox"/> 岩間シネクラブ サロン交流会	2回 30名	
		保土ヶ谷国際交流ラウンジへの協力	<input type="checkbox"/> 「子どもの勉強会」への協力	20回	
	6	文化団体や文化活動をする人の活動への協力	アートネットワーク会議やヒアリングでニーズをくみ上げ、その活動を活性化します	<input type="checkbox"/> アートネットワーク会議	1回
			市民の文化活動を支援	<input type="checkbox"/> 市民プラザチャンネル(再掲) <input type="checkbox"/> 音楽の贈り物@ほどがや(再掲) <input type="checkbox"/> 来て見て市民プラザ(再掲)	(再掲)
				<input type="checkbox"/> 邦楽公演	1回
				<input type="checkbox"/> アマチュア会員が活動する「出前寄席」への、備品貸出・広報協力	随時
			区内文化団体への協力	<input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区民文化祭への協力 写真展、茶華道展、高齢者作品展	1回 参加600名
借恵いわまワークスへの協力			<input type="checkbox"/> 「わくわくマーケット」への協力	1回 300名	
保土ヶ谷国際交流ラウンジへの協力	<input type="checkbox"/> 「ほどがや国際交流フェスタ」への協力	1回 300名			

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表

評価項目		令和4年度計画		
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	
4 文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける(使命4)	1 市民が行う文化芸術活動を通じた街づくり活動の支援と協働	文化芸術の力で、人と街と施設をつなげる取り組み	<input type="checkbox"/> 東海道ほどがや宿☆魅力発見！シリーズ(再掲) <input type="checkbox"/> 保土ヶ谷オープンヘリテージコンサート(再掲)	(再掲)
			<input type="checkbox"/> 歴史的建造物めぐりパネル展	1回 250名
			<input type="checkbox"/> 地域理解講座	1回 30名
	2 市民と施設の良好な関係を築き、地域コミュニティの中核として認識される運営の実行	文化芸術の力で人と人、人と情報がつながる取り組み	<input type="checkbox"/> 借恵いわまワークス「わくわくマーケット」協力(再掲) <input type="checkbox"/> 「ほどがや国際交流フェスタ」協力(再掲) <input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区民文化祭協力(再掲) <input type="checkbox"/> ゼロ歳からの中高生のための地域劇場協力(再掲)	(再掲)
		地域の施設間連携事業	<input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区地域デザインセミナー参加	実施
	3 近隣文化施設や各種文化団体、商店街、自治会等とのネットワークの構築、連携事業の実施	近隣商店街との共同事業、広報連携	<input type="checkbox"/> 音楽の贈り物@ほどがや(再掲)	(再掲)
		文化施設ネットワーク	<input type="checkbox"/> 市民プラザ・区民文化センター館長会	4回程度
		地域商店街・市民団体との連携	<input type="checkbox"/> 東海道ほどがや宿☆魅力発見！シリーズ(再掲)	(再掲)
		ほどがや人・まち・文化振興会との連携	<input type="checkbox"/> 歴史的建造物めぐりパネル展(再掲)	(再掲)
		東海道風景街道との連携	<input type="checkbox"/> 地域理解講座(再掲)	(再掲)
	4 事業プロモーション活動を通じた地域への人の呼び込みと地域のにぎわいの創出	共同事業体の強みを活かした広報活動	<input type="checkbox"/> tvk番組内での告知、広報	隔月
		文化事業・地域情報の情報拠点を提供	■情報コーナーでの地域情報の提供	通年
	5 みんなの市民プラザとして、様々な属性の方に配慮する	ほどがや国際交流ラウンジと連携し、外国の方が足を運びやすい環境をつくる	■やさしい日本語での案内、多言語での表記 <input type="checkbox"/> 国際交流ラウンジとの連携 日本語教室 日本語ボランティア養成講座 異文化理解講座	36回 平均40名/月
		借恵いわまワークスとの連携	■多様な市民への配慮	実施
			<input type="checkbox"/> 借恵いわまワークス「通所者作品展」	1回 参加者100名

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表

6	市民プラザが「みんなの広場」となるような取組の実施	NPO「LANDFES」との連携	<input type="checkbox"/> 3館連携インクルーシブ・ダンスワークショップ	準備		
		借恵いわまワークスとの連携	<input type="checkbox"/> 通所者作品展(再掲) <input type="checkbox"/> わくわくマーケット(再掲)	(再掲)		
		国際交流ラウンジとの連携	<input type="checkbox"/> 日本語教室(再掲) 日本語ボランティア養成講座 異文化理解講座 ほどがや国際交流フェスタ	(再掲)		
		NPO「横浜こどものひろば」との連携	<input type="checkbox"/> ゼロ歳から中高生のための地域劇場(再掲)	(再掲)		
		保土ヶ谷区民文化祭との連携(再掲)	<input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区民文化祭との連携(再掲)	(再掲)		
		保土ヶ谷華道会との連携	<input type="checkbox"/> 1階ロビー 装花1台常設	通年		
		利用団体同士の交流	<input type="checkbox"/> 3Fロビーの共有による交流	通年		
			<input type="checkbox"/> 利用団体同士の交流 「来て見て市民プラザ」(再掲)	(再掲)		
		7	「市民プラザ未来開発プロジェクト」の実施	■文化芸術の力による地域コミュニティの再生	■保土ヶ谷宿場祭りに協力し、人をつないで新たな担い手を発掘する	実施
				■コンテンツの配信、アーカイブスの構築	■3館連携の専用サイトでの配信に向け、情報共有する	実施
■次世代来館者の育成	■地域コミュニティと文化を考える、青年層を対象としたチームを組み上げる			準備		

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表

評価項目		令和4年度計画			
II 施設運営	指定管理者提案(要旨)		取組内容	目標	
1 利用者意見の収集と対応 (使命1-(2))	1 様々なニーズに対応するサービスの提供		■貸館公演のチケット販売や広報に協力	実施	
			■利用に関する相談・助言は、随時受け付け	実施	
	2 利用率を高める工夫	直前の利用申し込みについて、柔軟に対応	■ホールのリハーサル割引を制度設計し、市に申請する	実施	
		施設の見学やお試し、活動団体の紹介事業を行う	■ホール、ギャラリーを利用内容を伺いながら直前まで受付 □施設見学会「ホールたんけんツアー」(再掲) □来て見て市民プラザ(再掲) □ホールのグランドピアノを弾いてみませんか(再掲)	実施 (再掲)	
	3 要望・ご意見を受け止め、サービスの向上につなげる	利用者アンケートやご意見箱で、リハーサル割引、U25プランのニーズ調査を行う	■ご意見箱の設置	実施	
1 必要人材の配置と職能			■共同事業体各社から業務ごとに専門性の高い職員を適正に配置する。	実施	
			□館長(1)、副館長(1)、サービス担当(1)、企画・コミュニティ担当(2)、運営補助(3)、受付担当(5)	配置	
			□舞台技術担当(1)	配置	
			□設備担当(1)	配置	
			□清掃担当(1)	配置	
	2 情報の共有	円滑な管理運営のための各種会議の実施	申し送りの手法の確保	■メールや日報のほか、Google共有ツールを活用して情報共有	実施
				□朝礼	1回/日
				□職員会議	1回/月
				□運営調整会議/JV会議	4回/年
				□両プラザ連絡会議	4回/年
				■企画検討会	随時
				■一体プロジェクト推進会議	随時

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表

2 組織的な施設運営 (様式14,15)	3 主要人材の能力担保に向けた基礎研修の実施	効果的なOJTの実施	■職員各々に応じたOJTについて年間を通じて実施する	実施
		サービスレベルの統一とホスピタリティ向上につながる研修	<input type="checkbox"/> 接遇研修	1回/年
			<input type="checkbox"/> 人権研修	1回/年
			<input type="checkbox"/> バリアフリー研修	1回/年
			<input type="checkbox"/> 個人情報保護法研修	1回/年
			<input type="checkbox"/> コンプライアンス研修	1回/年
			<input type="checkbox"/> 防災訓練	2回/年
			<input type="checkbox"/> 危機管理研修	1回/年
			<input type="checkbox"/> 救急救命講習/AED	1回/年
			<input type="checkbox"/> 機材研修	1回/年
			<input type="checkbox"/> 受付業務研修	2回/年
		<input checked="" type="checkbox"/> 新採用・新規配属者研修	随時	
		市民プラザ2館合同研修	<input type="checkbox"/> 文化政策研修	1回/年
			<input checked="" type="checkbox"/> アイデア研修	随時

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表

評価項目		令和4年度計画		
II 施設運営	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	
3 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用 (様式25)	1 市内に拠点を置くメディアを代表する企業とする強みを活かした広報・プロモーションに対する取組み	従来の利用者、近隣在住者の多くを占める高齢者層へは、テレビや新聞折り込み、市の情報誌で情報発信	2回/年	
		現役世代～若年層に向けては、インターネット、SNSで情報発信	2件/年	
		情報弱者に寄り添った、無料で入手できる媒体の活用	■施設ホームページを基本に、施設利用促進や自主事業の情報発信を行う	実施
			■SNSの活用方法を検討する	実施
			□「催し物案内」を発行し、近隣施設等でも配布	12回/年
			□「広報よこはま」「タウンニュース」「相鉄瓦版」での情報発信(再掲)	(再掲)
2 関内ホールとの3館連携	■吉野町市民プラザ、関内ホールと連携し横浜全体で楽しむ事業を展開する	実施		
3 コミュニティ形成への寄与	■こども110番あんしんの家に登録し、地域の安心拠点として活動する	実施		
4 その他施設運営に関する事項	1 休館日の届け出	■休館日、開館時間について年度ごとに横浜市へ届出を行う	実施	
	2 許認可及び届け出	■許認可の取得や届出を必要とする場合は関係各所に対し適正に申請を行う	実施	
	3 目的外使用料の申請	■自動販売機等の目的外使用の手続きを実施	実施	
	4 財務状況の確認	■横浜市の要請に応じ財務状況について確認できる書類を提出する	実施	
	5 行政機関が策定する基準などの遵守	■行政機関が制定する基準などを遵守	実施	
	6 法律の制定及び改正への対応	■法律が制定及び改正された場合、横浜市と協議し対応	実施	

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表

評価項目		令和4年度計画			
Ⅲ施設管理		指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	
1 保守管理業務 (使命5)	1	施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	設備保守管理業務	■日常的な設備点検、清掃等、環境に配慮した清潔で安全・安心な施設管理を行う	実施
				■「業務の基準別添資料 6」に基づき、法定点検・日常点検・定期点検・清掃を実施	実施
				■常駐設備員による日常巡回で施設設備の不具合の有無を点検する	実施
				■舞台周りを適切に管理することで舞台設備の維持管理と運用を図る	実施
				■併設施設である、借恵いわまワークス、国際交流ラウンジ、保土ヶ谷区地域子育て支援拠点サテライトについても施設面のアドバイスを行う	実施
		計画的な修繕	■日常巡回で不具合を軽微なうちに発見し、初期対応することで未実施の不具合箇所を減らす	実施	
			■中長期的な修繕計画を立て、施設・設備・備品等の長寿命化に努める	実施	
			■不具合対応は優先的順位をつけながら、横浜市と協議の上修繕を行う	実施	
		備品等の適切な管理	■「業務の基準」に則り、物品管理簿により備品を管理	実施	
			■スタジオ入れ替え時等の機材点検で備品の状態を把握	実施	
			■備品の更新は長寿命化と経費節減の観点で横浜市と協議	実施	
			□年1回、物品管理簿の棚卸を行い、物品が適切に管理されているか確認し、市に報告します。	実施	
2 環境維持管理業務 (使命5)	1	施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	日常清掃・定期清掃	■「管理基準」により、地球環境に配慮しながら、快適な環境を維持する	実施
			感染症対策	■日常清掃や施設利用時、点検時にアルコール等を用いた除菌を行う	実施
			廃棄物処理及び環境への配慮	■年間排出計画を定めて適切な分別、リサイクル化の推進など廃棄物の発生抑制に努める	実施
			空気環境測定	□隔月実施	6回/年

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表

評価項目			令和4年度計画		
Ⅲ施設管理	指定管理者提案(要旨)		取組内容	目標	
3 保安警備業務 (使命5)	1	施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	開館時の対応	■開館中は施設内巡回、ITVで常に状況を把握し、異常が疑われる際には職員が現場確認して関係機関に通報する	実施
			閉館時の対応	■最終退館から出勤までは機械警備で監視し、異常時は警備スタッフが急行する	実施
	2	地域の安心拠点としての行政や警察との連携	子どもへの配慮	■こども110番あんしんの家に登録し、地域の安心拠点として活動(再掲)	(再掲)
4 防火・防災等 (使命5・様式14)	1	平常時の防災対策	消防法への対応	<input type="checkbox"/> 消防法に基づき、甲種防火管理者を選任した上で防災計画書を作成する <input type="checkbox"/> 統括防火管理者を選任し、全館合同で防災訓練を実施する <input type="checkbox"/> 複合施設の管理者連絡会を定期的開催し、情報を共有して日常の防火・防災に努める	実施 防災訓練 2回 3回/年
			防災マニュアルの作成	■横浜市防災計画に基づき、対応マニュアルをあらかじめ作成する	実施
			AEDの配備	■AEDを導入し、適切な管理及び職員への十分な操作研修を実施する	実施
			災害時の対応	河川増水時の対応	■川の水位や潮位、防災無線に留意し、防潮板設置基準に従って建物への浸水を防ぐ
	5 緊急時の対応 (使命5・様式14)	1	施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	地域との連携	■保土ヶ谷区と連絡を密にとり、要請があった場合には避難者を受け入れます。併せて、福祉避難所である借恵いわまワークスと連携を図る
施設管理者の災害備蓄				■大規模災害に備え、保存食や簡易トイレなど災害備蓄品を常備し、適切に維持管理します。	実施
6 感染症等衛生管理 (使命5)	1	施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	新型コロナウイルス等の感染症対策	■ガイドラインに準拠し、施設と設備の消毒等を行	実施
				■空調設備や給排気システムを点検し、貸出施設や共用スペースの換気量を維持する	実施
7 その他施設管理に関する事項	1	施設の管理を行う上で必要な資格者の配置		□電気主任技術者(第3種)	配置

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表

評価項目		令和4年度計画		
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	
1 利用率の目標設定 (様式22-C)	1 利用率の目標	□ホール(日単位)	93%	
		□ギャラリー(日単位) ※予約は週単位	54%	
		□リハーサル室(コマ単位)	74%	
		□レクチャールーム(コマ単位)	60%	
		□スタジオ(4室平均)(コマ単位)	81%	
2 指定管理料のみに依存しない収入構造 (様式23)	1 収支の安定に向けた取組	共同事業体それぞれの専門性を活かした、事業収入の安定化を実現します	■さまざまな広報媒体を通じて、事業のプロモーションを行う	実施
		安心安全で使いやすい施設運営で、利用率と利用料収入の向上を目指します(様式24-C)	□施設、附帯設備、駐車場利用料	17,000千円
		新たな利用者の獲得により、利用率向上を図ります	■頻度の多い利用形態のサンプルプランを示して利用料金の総額を示す	実施
			□新規利用者獲得取組を導入する	2件/年
		割引優遇制度など独自の利用料金制度が利用促進につながるか、調査・検討します	■ホール;リハーサル割引期間の拡大(再掲) ■ギャラリー;U25プラン(再掲)	(再掲)
	2 収入増への取組(使命5)	外部資金の導入	■要望に応えるため、料金設定のない場所について撮影料金を新設する	実施
			■広告収入、協賛金、助成金、クラウドファンディング等での資金獲得を積極的に行います	実施
			□外部資金獲得のため情報を収集し、補助金等に申請します	1件/年
			■クラウドファンディングの具体的な手法を検討する	実施
	3 経費削減等効率的運営の努力 (様式23)	1 効率的な施設運営に向けた取組	事業への対応	□年間の事業収支バランスをとり、支出が収入を上回らないようにする
			■共同事業体本社の応援により、外部発注による経費を抑制する	実施
発注や事務への対応			■見積合わせや電力調達の合同入札により、支出を抑える	実施
			■事務用品の再利用や計画的な業務遂行により、経費や作業時間の節減を図る	実施
施設・設備管理への対応			■効率的な運用で事務費・管理費等を縮減。職員の意識を高めて経費削減を徹底する	実施
			■感染症対策のための換気を優先しつつ、使用量を削減して、光熱水費削減に努める	実施
			■点検により施設と設備の状況を把握し、計画的に修繕して経費の平準化と抑制を図る	実施
人件費への対応			■グループウェアや共有サーバーを活用して情報を共有。業務を補完するとともに、貸館や来館者対応を全員で行い超過勤務を抑制する	推進
執行管理への対応	■毎月の試算表により執行管理を行い、期中の仮決算で収支予測を立て、修正予算を作成することで収支のバランスを取る	実施		

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表

V 各種計画書・報告書の作成及び業務評価	業務の基準		取組内容	目標	
各種計画書・報告書の作成	1	日報、月報の作成・管理	<input type="checkbox"/> 業務日報の作成 <input type="checkbox"/> 管理運営月報・完了確認表を作成し、モニタリングにおいて報告	実施	
	2	事業計画書・事業報告書の作成・管理	<input type="checkbox"/> 事業計画書(業務計画・業務計画表)の作成 <input type="checkbox"/> モニタリング時における業務計画表での進捗報告、および事業報告書の作成	実施	
	3	業務評価の実施	<input type="checkbox"/> 自己評価	実施	
VI その他	選定要項		取組内容	目標	
1 市の重要政策課題への対応 (様式26)	1	個人情報保護についての取組	個人情報の保護に関する法令等を遵守し、個人情報を適正に取り扱います	<input checked="" type="checkbox"/> 「個人情報取り扱いマニュアル」を整備し、ダブルチェックを徹底します <input type="checkbox"/> 個人情報研修(再掲)	実施 1回/年
	2	情報公開についての対応	情報発信 公開請求への対応	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ等で業務計画、業務報告、事業・施設の状況を積極的に提供する <input checked="" type="checkbox"/> 「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に準じて作成した「情報公開規程」等に基づき適正に対応する	実施 実施
	3	人権尊重についての取組		<input type="checkbox"/> 人権研修(再掲)	1回/年
	4	環境への配慮について	エネルギー使用量の削減 廃棄物の削減と資源再生	<input checked="" type="checkbox"/> 施設の利用状況に合わせて不要な点灯や空調稼働を最大限抑止する <input checked="" type="checkbox"/> 広報手法の多様化にあわせ公演チラシの作成部数を抑制する <input checked="" type="checkbox"/> 利用者によるごみの分別状況を確認し、分別の徹底を依頼する	実施 実施 実施
	5	障がい者に対する差別解消について		<input type="checkbox"/> 障がい者対応研修(再掲)	1回/年
	6	男女共同参画についての対応		<input type="checkbox"/> 男女共同参画の取り組みについての研修	1回/年
	7	市内中小企業優先発注について		<input checked="" type="checkbox"/> 「横浜市中小企業振興基本条例」に鑑み、可能な限り、市内に主たる事務所を有する中小企業に優先的に業務を発注する	実施
2 その他	1	保険及び損害賠償の取扱い		<input checked="" type="checkbox"/> 「指定管理者業務の基準 別添資料」に基づき施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入する	実施
	2	関係法令等の順守		<input checked="" type="checkbox"/> 現行の関係法令を順守するとともに、法令改正に気を配り、契約等の前に確認する	実施
	3	市及び関係機関等との連絡調整	横浜市との連携 複合施設の連携 地域との連携	<input checked="" type="checkbox"/> 事故や不具合時は速やかに報告し、随時共有する <input checked="" type="checkbox"/> 併設する施設(偕恵いわまワークス、ほどがや国際交流ラウンジ、三師会館、区老連)と連携し、運営改善や防災、修繕について検討する <input type="checkbox"/> 情報共有や運営改善のための連絡会を定期的開催	実施 実施 3回/年 実施
	4	2つの市民プラザを一体で運営し、さらに関内ホールも含めた3館連携、またその先の連携を目指す		<input checked="" type="checkbox"/> 2館連携、3館連携事業を企画・実施する <input checked="" type="checkbox"/> tvk「猫のひたいほどワイド」番組内コーナーでの事業告知を両プラザ交互に行う <input checked="" type="checkbox"/> 人的資源やノウハウを2館共通で活用し、管理・運営面でも連携する	実施 実施 実施

令和5年度 「岩間市民プラザ」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	76,750,000		76,750,000		76,750,000	横浜市より(5年度指定管理料通知額)
利用料金収入	17,000,000		17,000,000		17,000,000	
自主事業収入	6,611,800		6,611,800		6,611,800	教育プラットフォームを含む
雑入	694,490	0	694,490	0	694,490	
印刷代	6,000		6,000		6,000	館内コピー機利用料
自動販売機手数料	240,000		240,000		240,000	館内設置の飲料自動販売機2台分
その他(協賛金、助成金等)	448,490		448,490		448,490	協賛金助成金等
収入合計	101,056,290	0	101,056,290	0	101,056,290	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	52,684,700	0	52,684,700	0	52,684,700	
給与・賃金	49,938,200	0	49,938,200		49,938,200	
社会保険料	1,000,000		1,000,000		1,000,000	共同事業体各社で出向者分は負担(給与賃金額に含む)
通勤手当	1,746,500		1,746,500		1,746,500	
健康診断費			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担
勤労者福祉共済掛金			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担
退職給付引当金繰入額			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担
事務費	2,139,840	0	2,139,840	0	2,139,840	
旅費	50,000		50,000		50,000	
消耗品費	210,000		210,000		210,000	コピー用紙、事務用品代
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	200,000		200,000		200,000	
通信費	1,300,000		1,300,000		1,300,000	
使用料及び賃借料	81,840	0	81,840	0	81,840	
横浜市への支払分	81,840		81,840		81,840	目的外使用料
その他			0		0	IT°-機材材料
備品購入費	0		0		0	32,400円以上の備品購入費
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000		50,000	
職員等研修費	0		0		0	研修費
振込手数料	72,000		72,000		72,000	
リース料	161,000		161,000		161,000	
手数料			0		0	
地域協力費	15,000		15,000		15,000	
事業費	6,611,800	0	6,611,800	0	6,611,800	
自主事業費	6,611,800		6,611,800		6,611,800	教育プラットフォームを含む
管理費	33,473,570	0	33,473,570	0	33,473,570	
光熱水費	11,188,000	0	11,188,000	0	11,188,000	
電気料金	7,757,000		7,757,000		7,757,000	
ガス料金	2,311,000		2,311,000		2,311,000	
水道料金	1,120,000		1,120,000		1,120,000	
清掃費	5,540,370		5,540,370		5,540,370	
修繕費	800,000		800,000		800,000	設備関係修繕費、舞台関係修繕費
機械警備費	347,480		347,480		347,480	
舞台技術員	0		0		0	
設備保全費	15,597,720	0	15,597,720	0	15,597,720	
空調衛生設備保守	1,741,520		1,741,520		1,741,520	
消防設備保守	437,840		437,840		437,840	
電気設備保守	641,770		641,770		641,770	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	12,776,590		12,776,590		12,776,590	舞台音響照明機構保守費、ロールバックチェア、EV保守費等
共益費	0		0		0	
公租公課	5,229,700	0	5,229,700	0	5,229,700	
事業所税			0		0	
消費税	5,078,000		5,078,000		5,078,000	
印紙税	10,000		10,000		10,000	
その他(均等割)	141,700		141,700		141,700	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	916,680	0	916,680	0	916,680	
本部分	916,680		916,680		916,680	経理事務負担分、確定申告税理士報酬負担分、プラザHP保
当該施設分	0		0		0	
支出合計	101,056,290	0	101,056,290	0	101,056,290	
差引	0	0	0	0	0	